



# 知的資産経営報告書2018

南田産業株式会社

# 目次

|              |    |                      |    |
|--------------|----|----------------------|----|
| ▶ 代表者のあいさつ   | 3  | ▶ 関係資産               | 15 |
| ▶ 経営理念       | 4  | ▶ 物理的資産              | 16 |
| ▶ 取組方針       | 5  | ▶ 外部環境分析（事業機会とリスク）   | 17 |
| ▶ 事業概要       | 6  | ▶ 経営課題と戦略            | 18 |
| ▶ 沿革         | 7  | ▶ 将来に向けた価値創造・ビジネスモデル | 19 |
| ▶ 事業（業務）プロセス | 8  | ▶ 将来価値ストーリー          | 20 |
| ▶ 人的資産 1     | 9  | ▶ アクションプラン           | 21 |
| ▶ 人的資産 2     | 10 | ▶ 財務実績、主な財務指標        | 22 |
| ▶ 組織・技術資産    | 11 | ▶ 企業概要               | 23 |
| ▶ 情報資産       | 12 | ▶ 知的資産経営報告書作成支援機関    | 24 |
| ▶ 風土資産       | 13 |                      |    |
| ▶ 理念資産       | 14 |                      |    |

## 代表者あいさつ

- ▶ なぜこの会社の社長をされているのですか？」と聞かれることが多い私は、「家内の実家がこの事業を営んでいて、先代社長（義父）が亡くなった為に今は私が社長をしている」とだけ答えていますが、実は本当の理由はそれだけではありません。
- ▶ それは創業者である家内の父、古賀重義という人物の他を凌駕する圧倒的な熱量、そしてその豪快な生き様とこの仕事にかける情熱に心を動かされ、この人物と一緒に仕事をしたいと思ったことに他ありません。私が28歳の時この会社に来てからは、毎朝5時半から義父に仕事を教えてもらいつつ、この仕事に対する熱い思い入れやこれまでの逆境の乗り越え方、また経営者としての信念等を熱く聞かされていました。
- ▶ 義父が亡くなって、かれこれ17年になりますが、まだ私はその境地には達していません。しかしながらこれまで支えていただいた社員の皆様やお得意先様、地域の皆様に感謝と恩返しをしていきたいと思っております。
- ▶ わが社は創業以来50年、革靴（高級品）の縫製一筋に営んできました。
- ▶ これからも日本一の革靴縫製工場を目指して、働く人の誇りを大切にし、ものづくりに対する創意工夫と改善を行い、社会に貢献していきます。



南田産業株式会社  
代表取締役 長谷剛

# 経営理念

- ▶ 一流の靴には私達の技術がある
- ▶ 日本一の革靴縫製工場を目指す
- ▶ 働く人の誇りを大切にする
- ▶ 贈る人の気持ちになってものづくりをする



## 取組方針

- ▶ お客様の信頼に応えるために、高品質な製品をつくります。
- ▶ 創意工夫し、ものづくりの努力を惜しみません。
- ▶ 笑顔あふれる明るい職場をつくります。
- ▶ オリジナル製品を開発します。
- ▶ 社員の給料をアップします。
- ▶ 常に作業環境の改善を図ります。
- ▶ 機械縫製をベテラン職人の技術に近づけます。
- ▶ 社会貢献活動を続けます。



## 事業概要

弊社では様々な靴の上部（アッパー）の縫製を行っております。



裁断されたパーツを貼り合せていきます。



貼り合せたパーツを各種ミシンで縫い合わせます。



その後、様々な工程を経て靴の上部ができていきます。

# 沿革



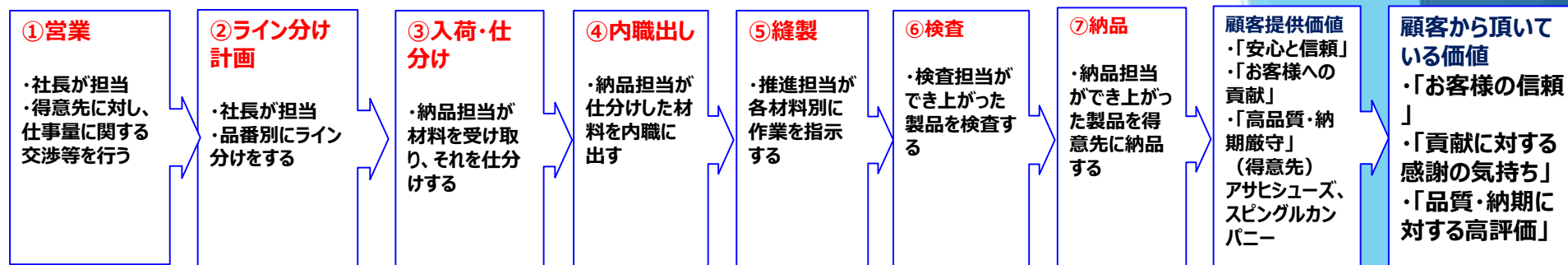
(創立20周年ならびに新社屋落成式の様子  
先代社長：古賀重義)



## 沿革

| 年       | 取り組み                         | トピックス         |
|---------|------------------------------|---------------|
| 1970年1月 | 創業 家族の者と社員1名にて革靴縫製開始         | 1日の生産数 50足    |
| 1971年4月 | 旧 日本ゴム(現アサヒシューズ株式会社)の協力工場となる | 1日の生産数 200足   |
| 1974年5月 | 本社工場新設(千代田町餘江東野ヶ里)           | 1日の生産数 500足   |
| 1981年9月 | リボン部発足(美錠、附属部品等の作成、販売)       |               |
| 1985年4月 | 小島工場設立(革靴縫製外注工場) 武雄市山内町三間坂   | 1日の生産数 1,100足 |
| 1987年8月 | (株)ミナミダ新設(布靴縫製子会社) 小城市三日月町   |               |
| 1990年1月 | 本社工場移転 敷地1400坪 神崎市千代田町餘江     | 1日の生産数 1,500足 |
| 1998年4月 | 旧アサヒコーポレーション 会社更生法申請の為 一時休業  |               |
| 1998年6月 | 事業再スタート 社員16名                |               |
| 2018年   | 現在に至る 社員34名                  |               |

# 事業（業務）プロセス



| 業務の流れ       | 他社との差別化に繋がっている取組   |
|-------------|--|
| ①営業         | 他社では対応できないような作業が細かい製品づくりや短納期の対応が当社では可能であることや、当社の不良品率が低いため、交渉を有利に進めることができる              |
| ②ライン分け計画    | 社長は、経験年数2-3年の実績があり、作業手順から仕様、作業者の能力まですべてを社長が管理しているため、最も効率の良い生産ラインを構築し、得意先に提案している        |
| ③入荷・仕分け     | 担当者は経験年数1年に満たないが、代々受け継がれてきたマニュアルがあるので、マニュアルに従い作業することで経験年数が浅くても作業手順を間違わずに素早く仕分けすることができる |
| ④内職出し       | 内職出しの担当は納品担当が兼務しているが、担当は内職さん1人とのコミュニケーション能力が優れており、内職さんのモチベーションアップを図りながら、仕事の依頼を行っている    |
| ⑤縫製         | 推進担当は技術者の能力を最大限に活かしながら的確な指示を出しており、難しい作業を効率よく行っている納期対応ができています                           |
| ⑥検査         | 検査担当は検査のポイントを十分把握しており、不良品を早期に発見できる検査は厳しいので、品質は向上している                                   |
| ⑦納品         | 得意先の問い合わせに対し、すぐに回答できる体制をとっている<br>トラブルがあったときに、すぐに関係部署に説得して回るなど、こまめに対応し、ミスを最小限に抑えている     |
| 顧客提供価値      | ・安心と信頼・お客様への貢献・高品質・納期厳守  |
| 顧客から頂いている価値 | ・お客様の信頼・貢献してくれたことに対する感謝の気持ち・品質・納期に対する高評価   |





## 人的資産



- ▶ 縫製の技術力が高いベテラン社員が多数いる
- ▶ 生産性が上がるように采配する推進担当（課長）がいる
- ▶ 課長のリーダーシップのもと自律的に行動する社員
- ▶ 得意先とのコミュニケーション能力が高い納品担当
- ▶ わずかなミスも見逃さない検査担当がいる
- ▶ 愛嬌が良く人気者の内職周り担当がいる
- ▶ 部下を規律正しく指導するベテラン社員
- ▶ 凄腕のミシン保全担当のベテランと若手社員

# 人的資産

様々な個性が集まり、その特徴を活かしながら毎日楽しく仕事をしています。





## 組織・技術資産

- ▶ **長年の経験の蓄積に裏打ちされた縫製技術**  
(縫製が難しい製品を生産できる)
- ▶ **自社で改良を重ねた機械・設備**  
(凄腕の保全担当が工夫して生産性向上を図っている)
- ▶ **納期対応**  
(担当リーダーが生産が上がるように品番の流れを組んでいる)
- ▶ **良好な作業環境**  
(社員からの苦情を吸い上げ、一つ一つ改善し対応している)

# 情報資産



針の番号表

| 品番  | 品名 | 規格 | 品名 |
|-----|----|----|----|
| 20  | 針  | 21 | 針  |
| 30  | 針  | 12 | 針  |
| 40  | 針  | 14 | 針  |
| 100 | 針  | 16 | 針  |
| 110 | 針  | 18 | 針  |
| 120 | 針  | 21 | 針  |
| 130 | 針  | 23 | 針  |

・ 品番 20-100 (100mm) (規格は JIS )  
(規格は JIS )

・ 品番 110-130 (130mm) (規格は JIS )

- ▶ **掲示板**  
(トラブル情報をすぐ掲示板に貼り付け、情報の共有を図っている)
- ▶ **内職指示作業マニュアル**  
(新しい製造を始めるごとにマニュアルを追加している)
- ▶ **仕様書と見本**  
(すぐに誰でも確認できるようにし、規格違いを防いでいる)
- ▶ **使用する針等の番手の張り紙**  
(ミス防止につながる)



# 風土資産

- ▶ **毎朝実施する朝礼**  
(50年続けている)
- ▶ **勤務時間中は仕事に集中する、規律正しく仕事をする、という雰囲気**  
(さぼる人がいない。生産効率が高い、ミスが少ない)
- ▶ **午前中の終わり仕事終わりに必ず掃除するという習慣**
- ▶ **生活自立支援センターからの紹介による人材の受け入れ・就労支援**



(毎年恒例の忘年会の様子)

# 理念資産

- ▶ **何よりも品質を重視していること**  
(仕事に対して誇りが持てる)
- ▶ **得意先には迷惑をかけないこと**  
(信頼関係を築ける)
- ▶ **(将来的に) 自社のオリジナル製品をつくること**  
(社員のモチベーションアップになる)
- ▶ **若い社員を雇える会社にする**  
(会社の活性化につながる)



# 関係資産

- ▶ **創業以来48年続く得意先**  
(アサヒシューズ) との信頼関係
- ▶ **外注先との協調関係**  
(小島靴工場、40年生産数量の増加に貢献)
- ▶ **数々の他社との取引実績**  
(仕事量が少ない時に相談が出来る)
- ▶ **これまでに仕事をマッチングしてきた会社**  
(仕事量が多い時に相談できる)
- ▶ **商工会、メインバンク**  
(情報をいただいたり、金融支援を受けられる)





# 物理的資産

- ▶ 1400坪の広い敷地  
(広い倉庫、広い食堂、  
空きスペース等がある)
- ▶ 社内寮があること
- ▶ 場所が得意先から近いこと  
(片道30分)
- ▶ 豊富なミシン等の機械・設備を  
持っている



# 外部環境分析（事業機会とリスク）

## 【チャンスと機会】

- ▶ 海外生産より国内生産が増加してきた
- ▶ 靴業界全体の縫製能力の不足
- ▶ 同業他社が廃業し、ライバル企業が少なくなっている
- ▶ 革靴（高級品）専門の縫製工場が不足している
- ▶ これからこの業種で起業する人がいない
- ▶ インターネットの普及

## 【リスクと脅威】

- ▶ 円高になると仕事が海外に流出する恐れがある（為替リスク）
- ▶ 得意先が縫製人員を増やしている
- ▶ 得意先の今後の方向性が変わりやすい
- ▶ 少子高齢化 による人手不足

# 経営課題と戦略

外部環境と知的  
資産を踏まえた  
今後のビジョン

- お客様の信頼に応えるために、高品質な製品をつくります。
- 創意工夫し、ものづくりの努力を惜しみません。
- 笑顔あふれる明るい職場をつくります。
- オリジナル製品を開発します。
- 社員の給料をアップします。
- 作業環境の改善を図ります。
- 機械縫製をベテラン職人の技術に近づけます。
- 社会貢献活動を続けます。

今後のビジョンを  
実現するための  
取組

- 高級品（革靴）の生産数を増加させる
- 廃業する工場を見つけて外注先とする
- 他メーカーからの仕事も増やす
- オリジナル製品を開発する
- コンピュータミシンを導入し、ベテラン以外の人でも高級品を縫製できるようにする
- 会社の給料を上げ、職場環境を良くし、社員を増やす
- エアコンを更新し、作業スペースを広げる
- ベテランと若手との世代交代をスムーズに行う
- 新卒を採用し、人材育成する
- インターネット直販を行う
- 円高で仕事が出海外に出る前に高級品を低コストで生産できるようにする
- 革靴縫製の技術で日本一になる
- 機械設備を新しいものと入れ替え、最先端の縫製工場にする
- ベテラン社員（職人）の技術を若手社員に伝承し高級品縫製の技術を維持し続ける

# 将来に向けた価値創造・ビジネスモデル

## 【現在】

K  
G  
I  
・  
K  
P  
I

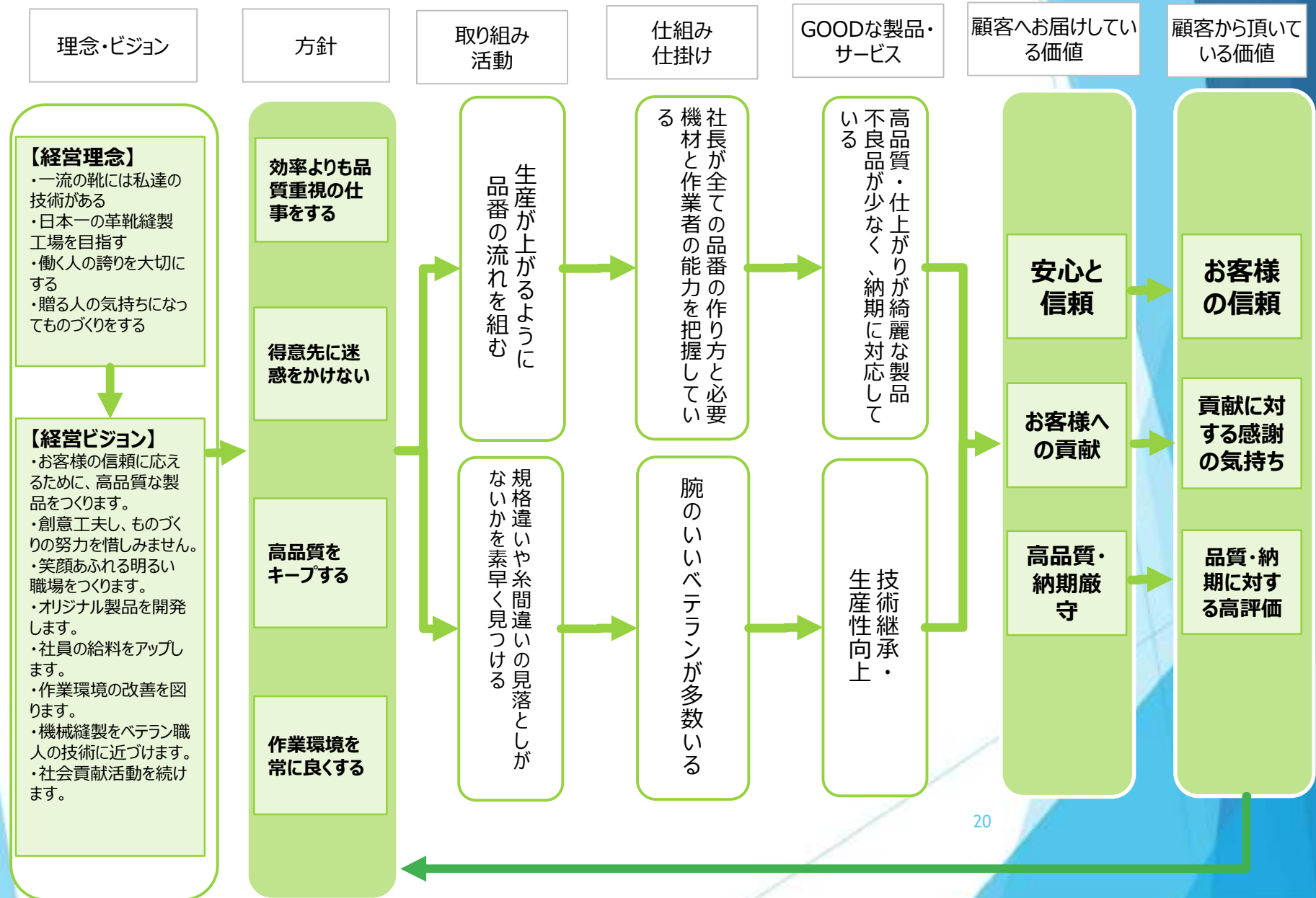
- ・最新のプログラム式電子ミシンが1台
- ・オリジナル製品はゼロ
- ・施設設備の老朽化
- ・社員の高齢化が進んでいる
- ・新卒社員は採っていない
- ・作業マニュアルがない
- ・高級品を高コストで生産している
- ・革靴縫製の技術で昔は日本一といわれていた

## 【将来】

- ・5年以内に最新のプログラム式電子ミシンを10台
- ・5年後までにオリジナル製品を1つ創る
- ・1年以内に照明をLEDに変え作業環境を良くする
- ・ベテラン社員（職人）の技術を若手社員に伝承し、高級品縫製の技術を維持し続ける
- ・3年以内に新卒社員を採り人財育成をする
- ・2年以内に動画付きの電子マニュアルを作る
- ・5年以内に高級品を低コストで生産できるようにする
- ・5年以内に革靴縫製の技術で日本一になる
- ・社員の給料をアップする



# 将来価値ストーリー





# アクションプラン

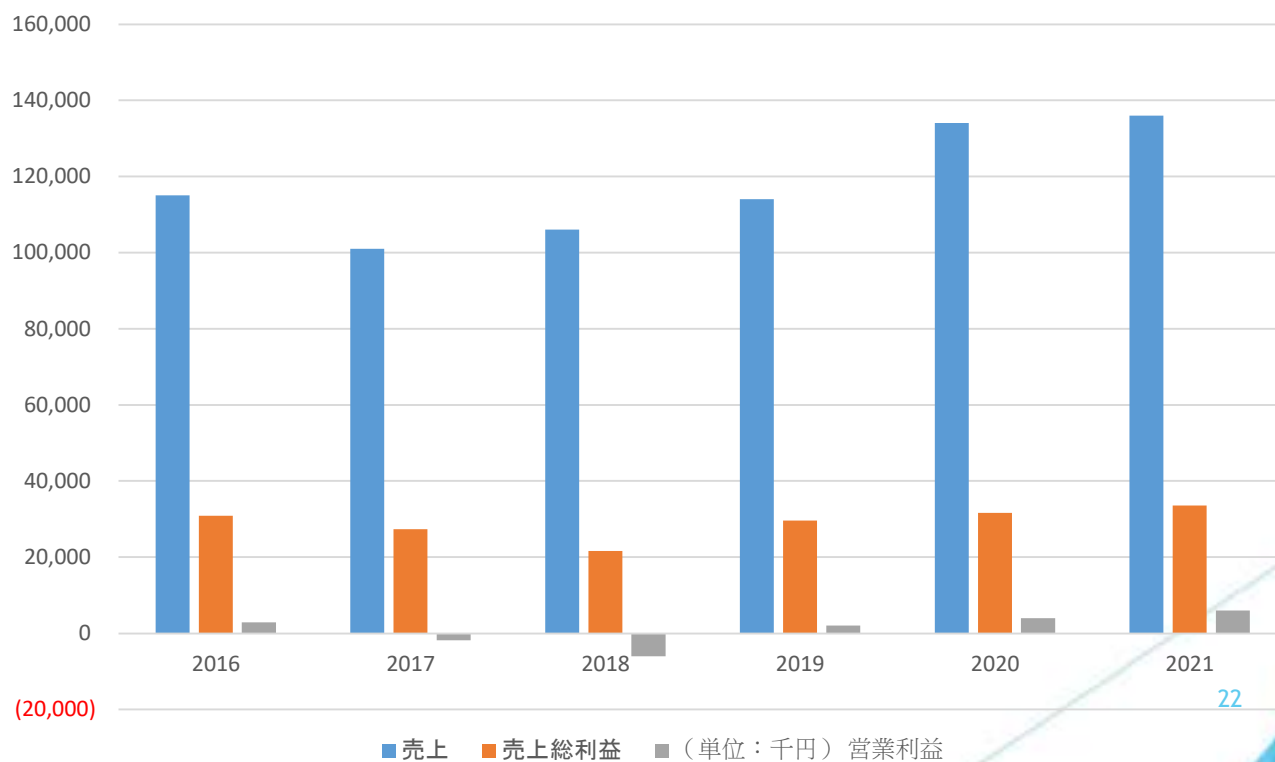


(2019改装後のイメージ)

| 知的資産     | 項目  | 具体的内容   | 目標年度  |
|----------|---|---|---|
| 人的資産     | <ul style="list-style-type: none"> <li>ベテラン技術者の技術を若手に引継ぐ</li> <li>コミュニケーション能力を高める</li> <li>社員の趣味を活かしたものづくり</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>若手社員に練習する時間を設ける</li> <li>社内ミーティングを定期的に開催する</li> <li>社員の趣味に必要なオリジナル製品を開発する（バイク、自転車、釣り、スポーツ等に関する小物製品）</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>3年以内</li> <li>今季～</li> <li>5年以内</li> </ul> |
| 組織・技術資産  | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業マニュアル作成</li> <li>納期対応力の強化</li> <li>試作開発部門を設置する</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人実習生でもすぐに技術を覚えることができるような動画付きのマニュアルを作成する</li> <li>納期を明確にした日程計画表の作成</li> <li>オリジナル製品を開発する為に必要なサンプルを購入し、独自の展開を図る</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>3年以内</li> <li>今季～</li> <li>5年以内</li> </ul> |
| 情報資産     | <ul style="list-style-type: none"> <li>トラブル情報、内職出し注意点等の情報の共有化</li> <li>今後も他社への仕事のマッチングを増やす</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>トラブル情報、内職出し注意点等の情報をWEB上でも共有化出来るようにする</li> <li>他社からの縫製以来情報がたくさん入るように、社長が各会社に連絡を取る</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>今季～</li> <li>今季～</li> <li>3年以内</li> </ul>  |
| 風土資産     | <ul style="list-style-type: none"> <li>会社の外観・内装を良くする</li> <li>清掃活動を定期化する</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>会社の外壁の塗り替え、入口玄関等の改装、照明器具の変更（LEDに切り替える）、仕切りカーテンの変更等を行う</li> <li>毎月初めに会社の外周を社員一同で清掃する</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>今季～</li> <li>今季～</li> </ul>                |
| 理念資産     | <ul style="list-style-type: none"> <li>品質重視の徹底</li> <li>会社のホームページ作成</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>会社の行動規範の作成</li> <li>ワードプレスを使用してのホームページ作成を行い社内の意思の疎通を図り、また社外へもアピールしていく</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>今季～</li> <li>今季～</li> </ul>                |
| 関係・物理的資産 | <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム式電子ミシンの多数導入</li> <li>M&amp;Aの活用による企業力強化</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>高級品（革靴）の生産数を増加させる（ベテラン社員にしかできなかった縫製工程をこのマシンで縫製できるようになる）</li> <li>廃業する工場を見つけて外注先とする</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>3年以内</li> <li>5年以内</li> </ul>              |

# 財務実績・主要な財務指標

財務分析、目標



# 企業概要



| 企業概要 |                    |
|------|--------------------|
| 代表者  | 長谷 剛               |
| 設立   | 1970年              |
| 所在地  | 佐賀県神埼市千代田町餘江1086-2 |
| 電話   | 0952-44-3245       |
| FAX  | 0952-44-3189       |
| URL  | 作成中                |
| 資本金  | 1,000万円            |
| 売上高  | 11,000万円           |
| 社員数  | 34名                |
| 事業内容 | 革靴縫製               |
| 取引銀行 | 佐賀銀行 水ヶ江支店         |

# 知的資産経営報告書作成支援機関

佐賀銀行

神崎市市商工会

一般社団法人 佐賀県中小企業診断協会